

授業科目	＊助産学研究演習					実務家教員担当科目	○		
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	通年		
担当教員	杉浦 絹子								
授業概要	助産学研究とは何か、目的、意義、助産学において用いられる研究方法と研究のプロセスについて学修する。また、助産実践の場における課題・問題を発見し、研究課題として発展させ、研究計画を立案し、発表する過程を実施する PBL（課題発見解決型学習）を行う。 以上のことについて、実務家教員として臨床での助産師の実務経験を有する教員が教授する。								
授業形態	対面授業			授業方法	PBL、プレゼンテーション				
学生が達成すべき行動目標									
標準的 レベル	1. 助産学領域における研究の基礎的内容・方法を説明できる。（DP2-1、3-1） 2. 研究計画に向けた文献検索ができる。（DP-3-1、3-2、4-1） 3. 文献検討の方法を説明できる。（DP2-1、3-1） 4. 研究デザイン、研究方法について説明できる。（DP2-1、3-1） 5. 研究計画の各構成要素について説明できる。（DP2-1） 6. 倫理的配慮と倫理的審査について説明できる。（DP3-2） 7. 模擬研究計画を立案できる。（DP3-1、3-2、4-1）								
理想的 レベル	助産実践の場における研究課題を具体的にイメージし、助産の質向上のための研究を自ら主体的に計画立案できる。								
評価方法・評価割合									
評価方法			評価割合（数値）			備考			
試験									
小テスト									
レポート									
発表（口頭、プレゼンテーション）			70			0			
レポート外の提出物			20			0			
その他			10			授業への積極的な参加姿勢。ミニッツペーパー。			
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング									
DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	-	ナンバリング	MI11104J
学習課題（予習・復習）									1 回の目安時間（時間）
復習：授業での該当箇所の復習									1
授業計画									
第 1 回	助産学研究の意義 ・ 助産学における研究 ・ エビデンスに基づく実践（EBP） ・ 助産学と EBP								

第2回	テーマ：助産学研究のプロセス
第3回	テーマ：文献検索、文献検討の方法 ・文献データベースの種類と活用方法 ・文献管理ソフトの種類と活用方法
第4回	テーマ：研究デザイン、研究方法 ・質的研究における代表的領域 グラウンデッド・セオリー・アプローチ、エスノグラフィー、現象学的研究 ・量的研究における代表的領域 記述的研究、相関関係的研究、実験研究、準実験研究
第5回	テーマ：データ分析方法① ・定量的分析方法 ・統計的分析方法
第6回	テーマ：データ分析方法② ・定性的（＝質的）研究方法 ・混合研究法
第7回	テーマ：研究課題、リサーチクエスションの設定 ・助産実践の現場における疑問・課題を研究課題・リサーチクエスションにするには
第8回	テーマ：助産学研究における倫理、研究計画書の作成プロセス
第9回	テーマ：研究計画書の作成①（PBL） 主体的に研究計画書を作成する
第10回	テーマ：研究計画書の作成②（PBL） 主体的に研究計画書を作成する
第11回	テーマ：研究計画書の作成③（PBL） 主体的に研究計画書を作成する
第12回	テーマ：研究計画書の作成④（PBL） 主体的に研究計画書を作成する
第13回	テーマ：研究計画書の作成⑤（PBL） 主体的に研究計画書を作成する
第14回	テーマ：研究計画発表スライド作成（PBL） 完成した計画書に沿った研究計画発表スライドを作成する
第15回	テーマ：研究計画発表（PBL、プレゼンテーション） 研究計画を発表する。
テキスト	授業中に紹介します。
参考図書・教材／データベース・	ミニツツペーパーに書かれた質問には、次回の授業の冒頭で回答し、クラスで共有します。

雑誌等の 紹介	
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	常に他の授業科目との関連および EBP (evidence-based practice) を意識して実習に臨んでください。 日常的なケアをはじめ、エビデンスに立ち帰る姿勢を忘れず、文献を用いて学ぶ習慣を持ちましょう。
学生への メッセー ジ・コメ ント	